

第一部拡大役員会（第25期・第3回）議事要旨

1. 開催日 令和3年6月15日（火）10時00分～12時00分
2. 場所 オンライン
3. 出席者 高村ゆかり、橋本伸也、溝端佐登史、小林傳司、吉田和彦、吉岡洋、西田眞也、和氣純子（社会学委員会佐藤委員長の代理）、若尾政希、小長谷有紀、川嶋四郎（法学委員会和田委員長の代理）、荻部直、岡崎哲二、西尾チヅル

事務局：増子、小川、昨間、實川

4. 議題

（1）報告事項

「日本学術会議のより良い役割発揮に向けて」等をめぐる状況について、部長から、1）日本学術会議内での検討状況、2）政府における検討状況が報告された。

（2）審議事項

1）人文・社会科学振興策をめぐる取り組みについて

部長から、これまでの取り組みを概括すると共に、資料に基づいて日本学術振興会の人文・社会科学振興施策について説明があった。今後は、データに基づく人文・社会科学の現況把握に取り組むことが了承された。また、日本学術振興会の施策の中で「人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築事業」については、学術会議内の分科会との連携を図っていくことにした。

2）提言・分科会のあり方改革について

部長から、本件の検討の経緯が概説され、資料に基づいて、執行部が検討中の分科会の在り方改革の方向性が説明された。その後、今後の提言の在り方と26期の分科会の設置の在り方について意見交換を行い、提言作成以外の活動にも目を向けること、分野別委員会内部でこの問題の議論を行っていくことの重要性が共有された。

3）夏季部会の持ち方について

部長から、事前に行った日程希望調査の結果に基づき、8月10日午後に開催することが提案され、了承された。

4）予算執行状況について

事務局から令和3年度の予算執行状況について説明があった。

5）その他

部長から第20回アジア学術会議（5月13-15日）と新型コロナウイルス感染症関連について説明があった。

また、部長から課題別委員会「我が国の学術の発展・研究力強化に関する検討委員会（仮称）」の設置について報告があり、第一部からも委員を推薦することが了承された。

副部長からは、第一部の国際活動として、24th AASSREC(19-21 October, 2021) “Navigating the future during and after Covid-19: The role of social sciences in Asia”への参加及び日本ASEAN Center との懇談予定について説明があった。

以上